



福岡県小郡市大板井1143-1
電話番号 0942-72-7221
FAX 0942-72-7222

そら

発行人

こぐま福祉会「そら」編集委員会



<http://www.koguma.ed.jp>



こぐま 夏まつり 2015

今年の夏まつりは八月二十九日(土)に開催しました。心配された天候は雨…と夏まつりを行うには少し残念な天気でしたが、総勢四〇五名の方にお越し頂き、雨に負けない子ども達の笑顔や喜ぶ声、一緒になって楽しんでくださったご家族の方々、いつもお世話になっている地域の方々、いつも増してハイテンションなスタッフと、お力添えしてくださったボランティアの方のおかげで夏まつりを盛大に行う事が出来ました。

十七時のスタートとともに、ステージではゲームやスイカ割り、子ども神輿、盆踊りなどを行いました。神輿では子ども達の作品を飾ったオリジナル神輿がまつりを華やかにしてくれて「わっしょい! わっしょい!」の子ども達の元気な掛け声でより一層賑やかに盛り上がりました。

その他にもおぼけ屋敷、体験コーナー、飲食コーナーなどがズラリ!

暑い中たくさんの方にお越し頂き、ここには書ききれないくらいたくさんの子も達がまつりを盛り上げてくれました。「こぐま学園の夏まつり」は如何だったでしょうか? 皆様にとって楽しい「夏の思い出」になって頂けたら幸いです。

(夏まつり実行委員 橋田)

心の窓



くわがたグループ
もりた みり
森田 美凜ちゃん

美凜は、くわがたグループに週四回通園しています。園までの道のりは覚えていて、園に近づくと笑顔で車から降りるとアピールする姿に、本当にこぐまが大好きなんだなあと毎日実感しています。

美凜は、平成二十二年一月二十八日に生まれました。美しく凜と強く生きてほしいという願いを込めて美凜と名付けました。お腹の中にいる時に、病気があるかもしれないと言われていたので、不安な毎日でしたが、少しずつ出来る事は増えていき、私も希望が見えてきていました。

しかし、成長に喜びを感じていたのも束の間、一才六カ月の時に初めて熱を出し、痙攣重積型脳症になりました。痛々しい姿に胸が張り裂けそう、代わられるものなら今すぐ代わってあげられるのに、そう何度も思いました。命も助かるか分からないと言われているけれど、美凜の生きる力はとても強く、毎日のリハビリも頑張り、乗り越えてくれました。そして、もつと美凜の成長の為に出来る事はないかと考えていた時、

こぐま学園に出会いました。小さい頃からお友達が大好きだった美凜にとってこぐまは望んでいた所でした。通園し始めてから三年間で大きく成長しました。四つ這いで移動したり、自分でご飯を食べたり、コミュニケーションを取る事も上手になりました。今では、分離の時に手を振って送り出してくれます。その姿がとても嬉しく、そして頼もしく感じます。

ここまで成長できたのも、熱心に訓練をしたり、色々な経験をさせてくださる先生方、一緒に笑って泣いて共に成長するお友達、側で優しく見守ってくださるお母様方、沢山の方々の支えがあったからこそだと思っています。こぐまで出会えた全ての方々に本当に感謝しています。

美凜は筋肉の病気と言われていますが、今は病気のことをすっかり忘れさせてくれるくらい元気です。「ママ、上手でしょう。」と言わんばかりの表情で見つめる美凜のキラキラした笑顔が大好きです。その笑顔が、一日でも長く続き、生まれてきてよかったと思ってもらえるように精一杯支えていきたいです。これからもどうぞよろしくお願いします。

(森田美凜の母)



こぐまLINE



受付
なかしま みあき
中島未明

毎日暑い日が続いていますね、暑の中の送迎お疲れ様です。

この「そら」が出るころには少しずつ涼しくなっているといいのですが。

こんにちは。受付の中島です。いつも、窓口にいることが多いので、「見たことある」と思われる方も、そうでない方も読んでいただけると嬉しいです。

私は、小郡育ちで、今年で小郡在住四十年になります。私が子供のころは、今よりもずいぶん田舎だったので、田んぼのなかで遊びながら育ちました。今はすっかり都会(?)になって、昔が懐かしくもあり、ちよっと寂しい気もしながら今も小郡で暮らしています。

小郡は便利でとても暮らしやすい町なので、引越しをお考えの方にもおすすめですよ。

さて、現在縁あってこぐま学園に入職し、早いものでもうすぐ四年目になります。

以前も子供に関わる仕事をしていましたが、また仕事をしようと思っ

たときに、子どもに関わる仕事をしたいと思えたのは、やはり出産と育児の経験が大きかったと思います。

一人目の出産前まで仕事をしていた私は、毎日楽しくのんびり過ごしていたこともあり、初めての育児で生活が一八〇度変わり、とまどう毎日でした。最初は大変！と聞いてはいたものの、今思えばそんなに気にしなくてもいいような、小さなことにも悩んだりしていました。

そんな時に子どもを持つ友達や児童館の先生、保育園の先生などたくさんの方に助けてもらいました。悩みもたくさん聞いてもらい、少しずつですが、子供の成長を喜ぶ余裕も生まれました。

今度は自分にも何か子育てのお手伝いができればと考えていました。そんなときに病児保育を利用したことがあったこぐま学園と出会い、今に至ります。

とはいえ、専門的な知識もなかったもので、分からないことだらけの状態でしたが、周りの方たちにも助けられ頑張っていることができました。

窓口で、毎日利用者の皆様からも元気をいただいています。気がついたことや困ったことがあれば遠慮なくお声かけくださいね。

これからもよろしく願いいたします。



陶芸教室に参加しました！

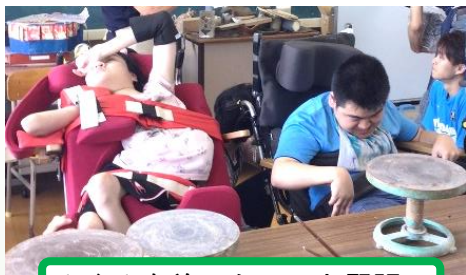
生活介護事業所「べあクラブ」で、七月三十日（木）小郡特別支援学校で行われた陶芸教室に参加してきました。

まず、担当の先生から、ろくろや手びねり、紐作りなどの手法から、型抜きや模様の付け方など詳しい説明と、見本を見せて頂きました。いよいよ何を作るか？どんな手法で作るかを最終決定し、ドキドキしながら始めました。ペアのスタッフと協力しながら、思い思いの工夫を凝らし、みんな真剣に取り組んでいました。約一時間半の格闘の末、花瓶にお皿、マグカップ、お湯飲みなど個性あふれる作品が出来ました。

世界に一個だけの心をこめた作品に皆さん大満足の様子でした。色付けし、窯で焼き上げて頂き、どんな作品に仕上がってくるのか、とても楽しみにしています。

久しぶりに母校の先生方とお会いすることができ、本当に楽しい時間を過ごさせて頂きました。ご協力頂きました先生方、一緒に参加されていた市民の皆様、貴重な体験をさせて頂きまして有難うございました。

（おとな支援部部长 横尾）



ろくろを前にちょっと緊張…



この微調整難しい！！



べあさん作品集♪



ボディペインティングしたよ☆



スイカをパクリッ！



みんな大好きプール☆

みんなで お泊り 楽しかったよ♪

8月21日（金）・22日（土）、「ゆう」年長児のお泊り保育を行いました。最初は、保護者の方と離れてドキドキの表情の子ども達でしたが、ダイナミックな感触あそびやカレー作り、スイカ割り等の普段なかなか体験できないことを、みんなで一緒に楽しみました。

あっという間の2日間でしたが、子ども達の笑顔や一生懸命な姿に感動し、パワーを頂きました。帰る頃には、またひとつたくましいお兄さん、お姉さんになったように感じられました。子ども達にとって素敵な夏の思い出になったと思います。

（保育士 稲永）



きれいな花火にうっとり★



カレーおいしくなあれ！



玉ねぎの皮むきに挑戦！！

ぷりんぐループ

実施しています♪

理学療法をうけておられる〇〇二歳児のダウン症をもつお子さまとそのご家族のみなさまへの発達支援として、新しく『ぷりんぐループ』をつくり、保育士・理学療法士・作業療法士と一緒に体を使った親子遊びなどの療育を行っています。

六月から十一月まで、月に一度の頻度で行います。八月からはダウン症についての学習会を予定しています。

- 八月 ○あそび・子育てについて
- 九月 ○体の機能や特徴
- 十月 ○道具の工夫
- 十一月 ○先輩保護者との座談会

同年齢のダウン症をもつお子さま、ご家族のみなさまの交流の場、情報交換・共有の機会となればと思います。

(理学療法士 園田)



みんなの館

『月のまつり』のお知らせ

九月二十七日(日)夕方四時より上陽町の「みんなの館」にて、毎年恒例『月のまつり』を開催します。

今年は、「みんなの館」の開館から十周年になります。たくさんの方々支えていただき、大変感謝いたしております。

地元の方の店や手作りピザの体験コーナーなどイベント内容も今まで以上に楽しんでいただけるよう、スタッフ一丸となって企画しています。

皆さんお誘い合わせの上、是非お越し下さい。お待ちしております。

(みんなの館 浦川)

入浴支援を始めました

生活介護事業所「べあクラブ」では、コミュニティ棟の完成に伴い、今年の五月より入浴支援を開始しました。

ご希望の利用者お一人につき週一回ではありますが、真新しい木の香りのする建物で、家庭用よりちよつと広めの湯船で一人ずつゆったりとくつろいで頂けるよう支援しています。

新しい環境での入浴とあって、始めは緊張されていた利用者の方も、少しずつ慣れて頂き、最近ではスタッフと談笑したり、あまりの心地よさに？あくびが出たりとリラックスした様子でバスタイムを楽しんで頂いています。ご家族からも喜んで頂いており、今後も利用者の方の体調に気を付けながら、入浴支援を行っていききたいと思います。

(おとな支援部部长 横尾)



行事予定

9月

- 15日(火) 避難訓練
- 27日(日) みんなの館
月のまつり

10月

- 6日(火) ゆう・はぐ誕生会
- 7日(水) 避難訓練
- 25日(日) こぐま学園 運動会
- 31日(土) べあクラブ
スポーツ大会

11月

- 10日(火) ゆう誕生会
- 11日(水) 避難訓練

交流保育

- 15日(火) 味坂保育園交流
- 18日(金) ごじょう保育所交流

- 9日(金) ごじょう保育所来園
- 16日(金) 真愛保育園交流
- 27日(火) 天使こども園交流
味坂保育園交流

- 6日(金) ごじょう保育所交流

理学療法士による

学校訪問を行っています

こぐま学園にて理学療法を受けておられるお子様を対象に、特別支援学校へ定期的な訪問を実施しています。このサービスは保育所等訪問支援事業にて実施しており、授業場面での姿勢の工夫や介助の仕方、座位保持装置などの環境調整など、姿勢や運動に関する支援を行っています。

こぐま学園で拝見する子ども達の様子とはまた一味違った顔を見る事ができるので、毎回楽しみに学校訪問させて頂いています。

(総合支援部部长 木下)